

インバウンドを中心とした観光に関する提言書

観光白書によると、日本の人口は減ってきており、日本人が使う観光消費額は下がってきている。業界では危機感を持ち、早くからインバウンドに取り組んでいるが、宮津の観光業界ではどう対応していくのか。時代はネット社会である。10年20年先を見越して、欧米からの個人旅行者のための観光地づくりに、共通認識をもって対応していかなければならない。景観だけでなく、神社仏閣・祭りなどの歴史文化、地域住民との交流や体験など、旅行者が自分のしたい旅行をするための情報を収集する手段として、以下の提言を行うものである。

なお、本提言に対する取り組みについては、適宜、議会に報告を行うよう求める。

- 1 外国人の目線で、外国人観光客に安心して訪れていただくために、観光情報にアクセスできるプラットフォームの整備をすること。

令和元年6月24日

宮津市長 城崎 雅文 様

宮津市議会議長 北仲 篤